第7章

チェックリスト評価編

地域子育て支援センターの自己評価のために

中川浩一

1．自己評価の目的

社会福祉法第78条には『社会福祉事業の経営者は、自らその提供する福祉サービスの質の評価を行うこと、その他の措置を講ずることにより、常に福祉サービスを受ける者の立場に立って良質かつ適切な福祉サービスを提供するよう努めなければならない。』とある。このように私たちが行う自己評価の目的は、より質の高い子育て支援の提供であり実践にある。その目的達成のためには、支援者自身が日々の活動を振り返り、利用者の声や思いを受け止めなければならない。しかしそれだけでは十分とはいえない。日々の子育て支援の実践が、保護者（利用者）にとって、または「子どもの育ち」にとって本当に役立っているのかどうか、また支援者と保護者（利用者）の思いが合っているかどうかなどを検証できる「子育て支援自己評価」が必要となる。自身の子育て支援の評価と反省（振り返り）、さらにそれに裏付けられた実践の積み重ねによって初めて子育て支援の「質」は高まっていく。そしてその中で子育て支援の専門性というスキルを培い、自信をもって目の前の親子に質の高い支援を提供できるのである。

2．自己評価のメリット

はじめに、自己評価の主体者はセンター長（園長）である（前述の「社会福祉法第78条」の通り）ことを確認しておきたい。決して支援者（担当者）任せにしてはいけない。支援者だけで自己評価を行うと、日々の支援活動に奔走するため、客観的な視点が欠けてしまう可能性がある。大所高所からの視点を園長（センター長）に、さらに他の職員（保育所保育士）からの視点も入れて園全体で行っていけば「より質の高い子育て支援」へとつなげていけると考える。そうすることで支援者としての子育て支援に向かっていくモチベーションも高まり、より質の高い支援に向かっていける。また保育現場の保育士にとっても大きな意味をなす。保育士の役割でもある「保護者支援」「親育ち支援」への大いなるヒントにもなる。

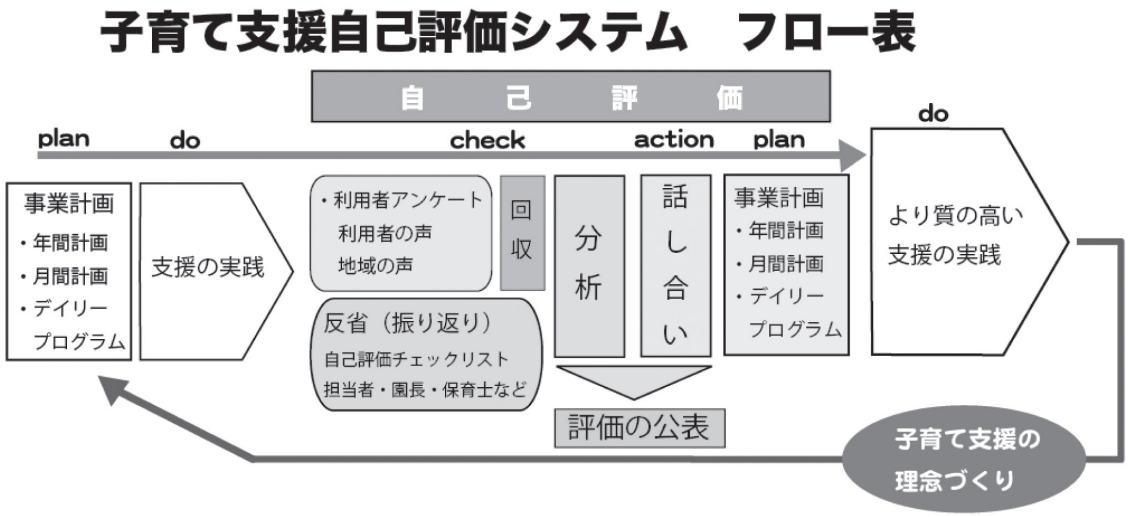
さらに自己評価を公表することができれば、地域子育て支援センターのみならず、保育所の社会的評価をも高めることにつながる。

3．自己評価の方法

自己評価の流れは、大きく分けて６つの行程で行う（子育て支援の「子育て支援自己評価システム　フロー表」を参照）。

① 自己評価チェックリスト【反省（振り返り）】
② 利用者アンケートの実施（利用者や地域の方の声を収集）
③ 自己評価チェックリストと利用者アンケートの結果分析
④ 話し合い（担当者・園長・保育士等）
⑤ 自己評価の内容を内外に向けて公表
⑥ 次年度計画へ（より質の高い子育て支援の実践）

さらに、①～⑥の行程を繰り返す中で「地域子育て支援センター」としての「子育て支援の理念」を確立していくことができる。



本章では、「子育て支援自己評価システム」のPDCAサイクル（計画：PLAN　行動：DO　評価：CHECK　改善・更新：ACTION）中の「評価：CHECK」にあたる「自己評価チェックリスト」と「利用者アンケート」さらに「結果分析の方法」について展開していきたい。

はじめに、「自己評価チェックリスト」と「利用者アンケート」作成にあたっては、平成24年度の本研究事業『子と親と地域をつなぐ子育て支援』の中の子育て支援自己評価のマニュアルを作成するための以下の４つの観点から検討した。

（１）活動する人別の子育て支援自己評価
（２）活動時間帯別の子育て支援自己評価
（３）活動の場所別の子育て支援自己評価
（４）活動の内容（基本４事業＆５事業）別の子育て支援自己評価

まず、上記の（1）（2）（3）の3つ観点で自己評価のマニュアルを作るとすれば、各「地域子育て支援センター」の運営規模・運営方法さらに地域性によりかなり格差が生じる。このことから全国共通のものを作るには、この3つの観点で組み立てていくことは難しい。したがって（4）活動の内容（基本4事業＆5事業）別の子育て支援自己評価マニュアルで作成することにした。

4．平成25年度「地域子育て支援拠点事業」の再編によって

ところが、平成27年度からスタートする子ども・子育て新制度（仮称）（以下「新制度」）に先駆けて「地域子育て支援拠点事業」は平成25年度再編された。これまでの「センター型」「ひろば型」を「一般型」へ、「児童館型」を「連携型」とし2類型となった。さらに「一般型」は「利用者支援」機能と「地域支援」機能を付加する形で「地域機能強化型」が創設された。

この再編は、拠点事業としての基本的な機能はこれまで通り踏襲しつつも、基本事業以外に様々な工夫を凝らして取り組んでいる拠点については、資金面でバックアップしていくものである。とくに、新制度の中の「利用者支援」の受け皿として「地域子育て支援拠点事業」が期待されている。

ただし「地域子育て支援拠点事業」の中の保育所ベースの拠点事業（いわゆる「地域子育て支援センター」）では、「利用者支援」の機能を付加することが難しいと考えている。それは「利用者支援機能」の目的が、利用者に対して新制度の中の給付や事業の利用についての情報集約し提供すること、さらに保育等の利用についての相談・利用調整することとなっている。つまり「地域子育て支援センター」の本体である保育所の経営・運営に間接的にせよ利害関係となるからである。一方「地域支援機能」は、「地域子育て支援センター」が元来最も得意としてきたところであり地域の様々な機関、団体、人とつながって子育て支援してきた大いなる実績もある。

いずれにしても今後「機能強化型」を付加し、実践する「地域子育て支援拠点事業」については「利用者支援」「地域支援」それぞれを盛り込んだ自己評価システムを作成する必要がある。「地域子育て支援拠点事業」が新編成されたばかりでもあり、このたびは「自己評価チェックリスト」の中に「地域支援」「利用者支援」を入れ込むまでとしたい。

5．「一般型」基本4事業を軸とした評価

そこで、このたびの再編に際しての基本形ともいうべき「一般型」基本4事業をみると

① 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

② 子育て等に関する相談・援助の実施

③ 地域の子育て関連情報の提供

④　子育て及び子育て支援に関する講習等を実施

となっている。この基本４事業は、平成24年度までの「センター型」「ひろば型」「児童館型」共通の基本４事業とまったく同じある。そして従来の「センター型」は、この基本４事業にアウトリーチの「地域支援」を加えて基本５事業としていた。

したがって、このたびの「子育て支援自己評価」作成にあたっては、「一般型」の基本４事業を軸にその活動別で「自己評価チェックリスト」ならびに「利用者アンケート」を作成すれば支援者側と利用者側のデータ比較も容易にでき、しかも全国どこの「地域子育て支援拠点事業」にあっても自己評価が可能であると判断した。

6．子育て支援自己評価システムの構築

私たちは、「子育て支援自己評価」から「子育て支援自己評価システム」の構築が最終目標である。自己評価・利用者評価によってその結果を分析し話し合って未来につなげていく。この繰り返しによって子育て支援の質を高めつつ、私たちが支援して目指す「子ども像」・「親像」・「親子像」・「子育て」・「子育ち」・「地域と親子」など、子育て支援の理念を確立することにこそある。この４年間本研究事業で進めてきた大きな柱の一つである。

そのことを踏まえてこの章では、「子育て支援自己評価システム」の構築に向けての第一段階であり、その核心部分を展開していく。

（1）支援者チェックリスト（check1：自己評価）

○支援者チェックリスト実施にあたって

①　時　期　特に決まっていないが12月～２月頃がよい

②　対象者　支援に携わる職員全員　センター長（園長）

○配布するもの

①　記入上の注意

②　自己評価チェックリスト（回答用紙）

③　集計及び評価

④　レーダーチャート

⑤　レーダーチャートの見方と分析

（2）子育て支援利用者アンケート（check2：利用者評価）

○子育て支援利用者アンケート実施にあたって

①　時期は、自己評価チェックリストの前後（12月～２月頃）

②　無記名アンケート

③　サンプル調査（30人～50人程度）

④　配布方法…無作為抽出が原則

ただし初めて遊びに来た利用者では本来のアンケートの主旨にあった回答が難しい場合もある。したがって、ある程度日常的に遊びに来ている利用者からランダムに選ぶ。

○配布するもの

①　依頼文

②　アンケート（回答用紙）

（3）結果と分析（check3）

1．子育て支援の自己評価集計表

2．子育て支援のレーダーチャート

3．レーダーチャートでみる評価結果と分析

4．利用者アンケートの自由記述のまとめ

5．地域の方の声（ボランティアの方、主任児童員などの地域関係者、学校関係者）

（4）「話し合い」（改善：action）

子育て支援の自己評価で一番大事なことは、子育て支援担当者はもとよりセンター長（園長）、さらに保育所全体で話し合うことだと思う。たとえ「自己評価チェックリスト」「利用者アンケート」を実施ししたとしても、その後何もACTIONを起こさなければ意味がない。自己評価の結果分析に基づき、「どうすればより質の高い子育て支援になるのか」「やりがいのある支援になるのか」など子育て支援担当者はもとよりセンター長（園長）や他の職員も交えての「話し合い」が大事である。またもし支援する側と利用者側の間の達成感や思いに差が生じていれば、また利用者ニーズに応えていない支援という結果がでれば、利用者（保護者）とも向きあい話し合うことが必要となる。そしてこれらの「話し合い」の中から「どうすれば実践に移せるか」など改善すべき点を一つ一つ明確にしていく。

（5）次年度の計画へ（plan）

このように「話し合い」から「よりよい支援」への方法や取り組み、改善すべき点が見いだせれば、次は今後の取り組みや次年度の計画に反映させていけばよいのである。もちろん各地域子育て支援センターの事情や規模、また地域性によっては、すぐに結論が出ない場合や取り組みが難しいこともある。その場合でも決して無理せず出来ることから始めていきたい。自己評価の目的が「より質の高い子育て支援」への実践ということを考えると、まずは少しずつでも目標を明確にして計画に盛り込むことが大事である。

（6）公　　表

その評価結果は、通信や機関誌に紹介し利用者（保護者）に知らせる。そして地域子育て支援センターとしての活動の協力や理解を得ていくことが大事である。またインターネットや様々な媒体を通じて広く公表していく。

公表することにより、社会福祉二種事業としての説明責任（アカウンタビリティー）を果たすことになる。公表した後に聞こえてくる内外からの様々な意見や声についても、真摯に丁寧に聴いていく。そして、次への計画や活動に活かしていきたい。「地域子育て支援センター」としての「子育て」「子育ち」「親育ち」の資質向上を図るためにも公表は必要である。

（7）実践活動（do）

改善すべき点や新たな目標を加味したあらたな計画ができたら、その計画に基づく「よりよい子育て支援」に向けての実践を行う。子育て支援の担当者はもちろん全職員が取り組む課題を明確にして連携・協働しながら実践する。また、子育て支援の実践の中で利用者（保護者）や地域の方の協力を求める。また年度途中であっても活動状況をまとめたり中間的自己評価を実施しながら当初の計画や目標達成に向けての活動を修正したり改善していく。

（8）子育て支援の理念づくり

このようにこの章では、自己評価の一案を示したが、他にも子育て支援の自己評価の方法は様々あると思う。あるいはもっと別の形で高度な「子育て支援自己評価システム」があるかもしれない。ただ大切な事は、まずは子育て支援にも自己評価を始めることである。その上でどういう形の自己評価が現場にとっていいのか、質の高い支援につながるのか、これからも「子育て支援自己評価システム」を研究していくべきであり今後の課題としていきたい。そしてこの「子育て支援自己評価システム」が確立していけば、自然と「子育て支援の理念」も深まっていくに違いない。

以下を紹介する。

「自己評価チェックリスト記入上の注意事項」

「自己評価チェックリストチェックリスト」

「子育て支援利用者アンケートのお願い」

「子育て支援利用者アンケート」

「集計表及び分析評価シート」

「レーダーチャートでみる結果と分析方法」

【自己評価チェックリストの記入上の注意】

このチェックリストは、あなたの子育て支援の実践について自己評価するためのものです。他の人と話し合って行うものではありません。子育て支援拠点事業に携わる方がそれぞれ行って下さい。

記入にあたっての注意いただく点は次のとおりです。

※自己評価の時期（タイミング）は、特に決まっていません。あなたが自己評価したいと思う時にすることができます。ただし、次年度の計画に活かそうと思えば、年度初めに立てた計画がある程度実践した上で自分を振り返ることができ、しかも次年度の計画を立てる前となる12月～２月頃がいい時期かもしれません。

※チェックリストは、子育て支援センターの担当者として回答して下さい。したがって回答は、あなたの子育て支援するときの姿勢や行動、認識や判断・考え方についての内容となります。

※各チェック項目に対しては以下のような５段階で回答します。あまり深く考えずに素直に回答してみて下さい。

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

※「回答なし」や複数の回答はしないようにお願いします。ただし、支援センターで実施されていない事業や内容等については回答の対象から外して下さい。

※回答は、番号１～５のいずれかに○を付け、その番号を数値としてそれぞれ節尾にある表に記入し、その合計を小計欄に記入して下さい。

【記入例】

Ⅰ―1　あなたは、すべての子どもについて一人ひとりの存在とその人権を尊重している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　(3 少し)できている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅰ-1	Ⅰ-2	Ⅰ-3	Ⅰ-4	Ⅰ-5	Ⅰ-6	小　計
3						

（自己評価チェックリスト）

Ⅰ　子育て支援の理念編

Ⅰ―1　あなたは、すべての子どもについて一人ひとりの存在とその人権を尊重している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅰ―2　あなたは、子どもや親子が安心して成長発達していける地域や社会を創ることは大切であると考えている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅰ―3　あなたは、だれでも温かく受け入れている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅰ―4　あなたは、子どもの育ちを保護者とともに考え、悩み、喜びあうことができる

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅰ―5　あなたは、保護者（利用者）の潜在力を信じ、自立するための支援に努めている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅰ―6　あなたは、子育て家庭のニーズを把握するために保護者（利用者）の声を聴き、またアンケートを実施して保護者目線の視点を大事にしている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅰ－1	Ⅰ－2	Ⅰ－3	Ⅰ－4	Ⅰ－5	Ⅰ－6	小　計

Ⅱ　子育て支援事業編

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

Ⅱ―1　あなたは、親同士の交流（親の友達づくり）の場を大事にしている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―2　あなたは、保護者（利用者）をいわゆる「お客様」にしていない

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―3　あなたは、親子で楽しむ遊びや行事へ多くの保護者（利用者）が参加できるように、施設や活動内容の情報をインターネットや機関誌等を通じて提供している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―4　あなたは、親支援プログラムなど親が自立した子育てができるように努めている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―5　あなたは、父親も参加しやすいような工夫をしている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―6　あなたは、ボランティアなどを積極的に受け入れている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ-1	Ⅱ-2	Ⅱ-3	Ⅱ-4	Ⅱ-5	Ⅱ-6	小　計

②子育て等に関する相談

Ⅱ―7　あなたは、気軽に相談できる場や相談しやすい雰囲気をつくっている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―8　あなたは、受容やカウンセリングマインドをもって傾聴を心がけている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―9　あなたは相談内容を記録として残している。そして定期的にまとめ、職員会や理事会等へ提出し、今後の支援に役立てている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―10　あなたは、相談内容は守秘義務を徹底し、個人情報の適正な管理に努めている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―11　あなたは、相談の際に子育ての専門家として、子どもの育ちに関する知識情報をわかりやすく提供している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―12　あなたは、支援センターだけでは抱えきれない相談があった場合（虐待・ＤＶ・精神疾患・発達障害など)、他の専門機関につないでいる

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ－7	Ⅱ－8	Ⅱ－9	Ⅱ－10	Ⅱ－11	Ⅱ－12	小　計

③地域の子育て関連情報の提供

Ⅱ―13　あなたは通信などを発行して、広く地域の子育て家庭に向けてセンター内の情報を発信している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―14　あなたは子育てに関する豊富な情報を得られるよう努めている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―15　あなたは行政や他機関が作成している子育てカレンダーや子育て情報誌に情報を提供している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―16　あなたはセンターで、子育てカレンダーなどを作成して子育て情報を自ら発信している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―17　あなたはインターネットや機関誌などで子育て情報を提供している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―18　あなたは、むしろ役立つ情報を持つ保護者（利用者）こそ、情報提供の主体者として積極的に活用している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ－13	Ⅱ－14	Ⅱ－15	Ⅱ－16	Ⅱ－17	Ⅱ－18	小　計

④子育て及び子育て支援の講習等の実施

Ⅱ―19　あなたは子育て講座を開くにあたって、季節や年齢など参加者の関心のある講座を開催している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―20　あなたは、この事だけは保護者（利用者）として身につけてもらいたいと思うスキルや内容についての講座は、参加しやすい工夫をしている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―21　あなたは食育などの講座を盛り込んでいる

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―22　あなたは保護者（利用者）の声を聴き、ニーズにあった講座を開催している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―23　あなたは、座学ばかりではなく参加型または体験型学習等も行っている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―24　あなたは父親や祖父母など積極的に子育てに関わってもらえるような講座を実施している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ－19	Ⅱ－20	Ⅱ－21	Ⅱ－22	Ⅱ－23	Ⅱ－24	小　計

※次項からは、「一般型」の中でも「機能強化型」の「地域支援」「利用者支援」を付加して取り組んでいるまたは取り組もうとしている子育て支援センターは同じように回答して下さい。

ただし、「支援者チェックリスト」のみになります。それは支援者と利用者の回答を比較するための「利用者アンケート」の設問設定ができないためです。

⑤地域支援活動の実施

Ⅱ―25　あなたは、支援センター機能を出前（出張支援）で行ったり、地域の中で活動している自主サークルを支援したり協働している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―26　あなたは、支援センターを利用しにくい人への訪問支援を行っている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―27　あなたは、地域の他団体や関係機関との連携し、地域交流を促進している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―28　あなたは、つねに地域の中から子育て支援の支え手（ボランティア）を増やす目を持つ

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―29　あなたは、高齢者・地域の学生・児童等との世代間交流につとめている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―30　あなたは、地域の伝統文化や習慣行事にふれる活動によって親子の育ちの支援を行っている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ－25	Ⅱ－26	Ⅱ－27	Ⅱ－28	Ⅱ－29	Ⅱ－30	小　計

⑥利用者支援活動の実施

Ⅱ―31　あなたは、保育所・幼稚園・認定こども園や地域子育て支援事業（小規模保育事業・家庭的保育事業・地域子育て支援拠点事業等）を行っている事業所と連携がとれている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―32　あなたは、保育所・幼稚園・認定こども園または地域子育て支援事業の利用についての最新情報をつねに得て、利用者（保護者）ニーズに対して速やかにまた的確に提供している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―33　あなたは、保育所・幼稚園・認定こども園または地域子育て支援事業の利用についての最新情報をインターネットや情報誌等を活用して広く提供している

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―34　あなたは、利用者（保護者）の相談、問い合わせに対して利用の手続きや方法を親身に応えている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―35　あなたは、利用者（保護者）が、保育所・幼稚園・認定こども園または地域子育て支援事業の利用ができるよう支援や援助を積極的に行っている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ―36　あなたは、利用者（保護者）のニーズ通りいかない場合でも次善策を提示したり、アフターフォローの連絡するなど利用者（保護者）に寄り添っている

1 ほとんどできていない　2 あまりできていない　3 少しできている　4 よくできている　5 かなりできている

Ⅱ－31	Ⅱ－32	Ⅱ－33	Ⅱ－34	Ⅱ－35	Ⅱ－36	小　計

○○子育て支援センターを
ご利用の皆様

○○子育て支援センター
センター長　○○○○

子育て支援利用者アンケートのお願い

このアンケートは、あなたが利用している子育て支援センターが、より質の高いきめ細かな子育て支援の展開を目指して、利用者の皆様の声を聴くためのものです。どうかご協力をよろしくお願い致します。

※記入にあたってご注意いただく点は次のとおりです。

① 子育て支援センターの利用者として回答して下さい。したがって回答は、あなたの子育てに対する姿勢や行動、認識や判断・考え方についての内容です。

② 各チェック項目に対しては原則的に５段階で回答していただきます。

③ 各チェック項目には必ず１～５のいずれかに○を付け回答し、「回答なし」や複数の回答はしないようにお願いします。ただし、支援センターで実施されていない事業や内容等については回答の対象から外して下さい。

④ 各節の終わりに自由記述欄を設けています。ご意見やご要望などあればお気軽にお書き下さい。欄が足らなければ空白部分や裏面へ書き込んで頂いても構いません。

⑤ 回答は各チェック項目後にある番号１～５のいずれかに○を付け、各節の終わりの表に○を付けた番号を数値として記入、その合計を小計欄に記入して下さい。

回答提出期限は　　年　　月　　日（　　）までに無記名でご提出下さい。

どうぞよろしくお願い致します。

○○年度　子育て支援利用者アンケート

○○子育て支援センター

Ⅰ　子育て支援の理念

Ⅰ―1　あなたは、支援センターに遊びに来たとき、自分も子どもも、やさしく大切にされているなぁと思いますか

1 ほとんど思わない　2 あまり思わない　3 少し思う　4 よく思う　5 かなり思う

Ⅰ―2　あなたは、子どもや親子が安心して成長していくためには、地域や社会の力が必要であると思いますか

1 ほとんど思わない　2 あまり思わない　3 少し思う　4 よく思う　5 かなり思う

Ⅰ―3　あなたは、支援センターに遊びに来ると、ほっと心が和み、温かく迎えられたなぁと思いますか

1 ほとんど思わない　2 あまり思わない　3 少し思う　4 よく思う　5 かなり思う

Ⅰ―4　あなたは、支援センターに遊びに来るようになって子どもの育ちや子育てを一緒に考えたり、悩んだり、喜びあったりする仲間ができましたか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅰ―5　あなたは、支援センターに遊びに来るようになって「頑張ってるね！」など自身の子育てを誉められたり、前向きになるような声をかけられたことがありますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅰ―6　あなたは、支援センターの担当者へ自分の思いや意見を伝えたことがありますか、またその声がセンターの活動に活かされていますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

【自由記述】

Ⅰ－1	Ⅰ－2	Ⅰ－3	Ⅰ－4	Ⅰ－5	Ⅰ－6	小　計

Ⅱ　子育て支援事業

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

Ⅱ―1　あなたは、支援センターが親同士の交流（親の友達づくり）の場になっていると思いますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―2　あなたは、支援センターで自ら主体的な活動（絵本の読み聞かせや演奏など）をしたことがありますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―3　あなたは、支援センターの活動内容や情報を得るために、インターネットや機関誌等を利用していますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―4　あなたは、支援センターを利用して子育てに自信がもてるようになったと思いますか

1 ほとんど思わない　2 あまり思わない　3 少し思う　4 よく思う　5 かなり思う

Ⅱ―5　あなたは、父親や家族の方と一緒に支援センターの活動に参加したことがありますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―6　あなたは、支援センターの活動の中でボランティアの方とお話をしたり、関わったことがありますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

【自由記述】

Ⅱ－1	Ⅱ－2	Ⅱ－3	Ⅱ－4	Ⅱ－5	Ⅱ－6	小　計

②子育て等に関する相談

Ⅱ―7　支援センターは、気軽に相談できる場になっていますか、また相談しやすい雰囲気ですか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―8　支援センターに行くと、じっくりあなたの話に耳を傾けてもらえますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―9　支援センターでは、保護者からの子どもや子育てについての疑問や相談を体系付け分析するなどして個人情報を除き、子育て支援の活動に活かされていると思いますか

1 ほとんど思わない　2 あまり思わない　3 少し思う　4 よく思う　5 かなり思う

Ⅱ―10　支援センターは、あなたの相談内容や個人情報について守秘義務を徹底していると感じていますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―11　支援センターは、あなたの相談に対して納得いくアドバイスやわかりやすい情報提供がありますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―12　支援センターでは、園医・看護師・保健師・発達センター・行政窓口等につないでもらったことがありますか、またはつないでもらえると感じますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

【自由記述】

Ⅱ－7	Ⅱ－8	Ⅱ－9	Ⅱ－10	Ⅱ－11	Ⅱ－12	小　計

⑤地域の子育て関連情報の提供

Ⅱ―13　あなたは、支援センター独自の通信や情報誌から子育て情報を得ていますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―14　あなたは、支援センターから子育てに関する豊富な情報を得ていますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―15　あなたは、行政や他の団体が作成している子育てカレンダーや子育て情報誌の中で支援センターの情報を見たり、得たりしたことがありますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―16　あなたは、支援センター独自の子育てカレンダーなどで他の子育て情報を得ていますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―17　あなたは、支援センター独自のホームページや機関誌などで子育て情報を得ることがありますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―18　あなたは,他の子育て情報を支援センターへ提供をしたことがありますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

【自由記述】

Ⅱ－13	Ⅱ－14	Ⅱ－15	Ⅱ－16	Ⅱ－17	Ⅱ－18	小　計

④子育て及び子育て支援の講習等の実施

Ⅱ―19　あなたは、支援センターで子育て講座に参加していますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―20　あなたは、支援センターでの子育て講座は参加しやすいと思っていますか

1 ほとんど思わない　2 あまり思わない　3 少し思う　4 よく思う　5 かなり思う

Ⅱ―21　あなたは、食育講座などに興味がありますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―22　支援センターでは、講座に参加した感想やアンケートをとり、あなたやあなたの仲間の声を反映した講座を開催していますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―23　支援センターでは、座学ばかりではなく参加型や体験型学習等も行っていますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

Ⅱ―24　支援センターでは、父親や祖父母なども参加できる講座を実施していますか

1 ほとんどない　2 あまりない　3 少しある　4 よくある　5 かなりある

【自由記述】

Ⅱ－19	Ⅱ－20	Ⅱ－21	Ⅱ－22	Ⅱ－23	Ⅱ－24	小　計

【集計表及び分析評価シート】

1．子育て支援の自己評価集計表（項目別）
2．子育て支援の自己評価集計表（事業別）
3．子育て支援のレーダーチャート
4．レーダーチャートでみる評価結果と分析

1．子育て支援の自己評価集計表（項目別）

Ⅰ 理　念　　Ⅱ 活動内容別チェック項目		点数比較	
		支援者	利用者
Ⅰ―1	人権を尊重／大切にされる		
Ⅰ―2	親子が成長発達していける地域や社会		
Ⅰ―3	温かく受け入れる／温かく迎えられる		
Ⅰ―4	保護者とともに／一緒に考え悩み喜ぶ		
Ⅰ―5	潜在力を信じる／励まし前向きになる声がけ		
Ⅰ―6	保護者視点／自分の思いや意見を伝える		
Ⅱ―1	親同士の交流（親の友達づくり）		
Ⅱ―2	保護者をお客様にしない／主体的な活動		
Ⅱ―3	インターネットや機関誌		
Ⅱ―4	親が自立した子育て／自信をもって子育て		
Ⅱ―5	父親の参加		
Ⅱ―6	ボランティアの受入／ボランティアとの関わり		
Ⅱ―7	気軽に相談できる／相談できる雰囲気		
Ⅱ―8	受容と傾聴／じっくり話に耳を傾ける		
Ⅱ―9	相談内容を記録／疑問・相談の体系付け		
Ⅱ―10	守秘義務を徹底		
Ⅱ―11	子どもの育ちの知識情報／納得いくアドバイス		
Ⅱ―12	他の専門機関		
Ⅱ―13	センター内の情報を発信／独自の通信、情報誌		
Ⅱ―14	子育てに関する豊富な情報		
Ⅱ―15	行政の子育てカレンダー／独自の通信、情報誌		

Ⅱ―16	子育て情報を発信／独自の子育てカレンダー		
Ⅱ―17	子育て情報を提供／独自のホームページ		
Ⅱ―18	保護者こそ情報提供の主体者／情報の提供		
Ⅱ―19	参加者の関心のある講座／子育て講座へ参加		
Ⅱ―20	参加しやすい工夫／参加しやすいと思う		
Ⅱ―21	食育などの講座		
Ⅱ―22	保護者のニーズにあった講座／声を反映		
Ⅱ―23	参加型または体験型学習		
Ⅱ―24	父親や祖父母が子育てに関わる講座		

（記入方法）

（１）支援者による「自己評価チェックリスト」の各項ごとの数値を、上記の表に記入して下さい。

（２）「利用者アンケート」の各項ごとの数値（平均値）も記入します。

２．子育て支援の自己評価結果集計表（事業別）

活　動　内　容	点数比較	
	支援者	利用者
子育て支援の理念		
①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進		
②子育て等に関する相談、援助の実施		
③地域の子育て関連情報の提供		
④子育て及び子育て支援の講習等の実施		
⑤地域支援の実施		な　し
⑥利用者支援の実施		

（記入集計方法）

（１）支援者による「自己評価チェックリスト」の各事業の小計を計算し、上記の表へ記入して下さい。

（２）「利用者アンケート」の各事業の小計の平均値を計算し、上記の表へ記入して下さい。

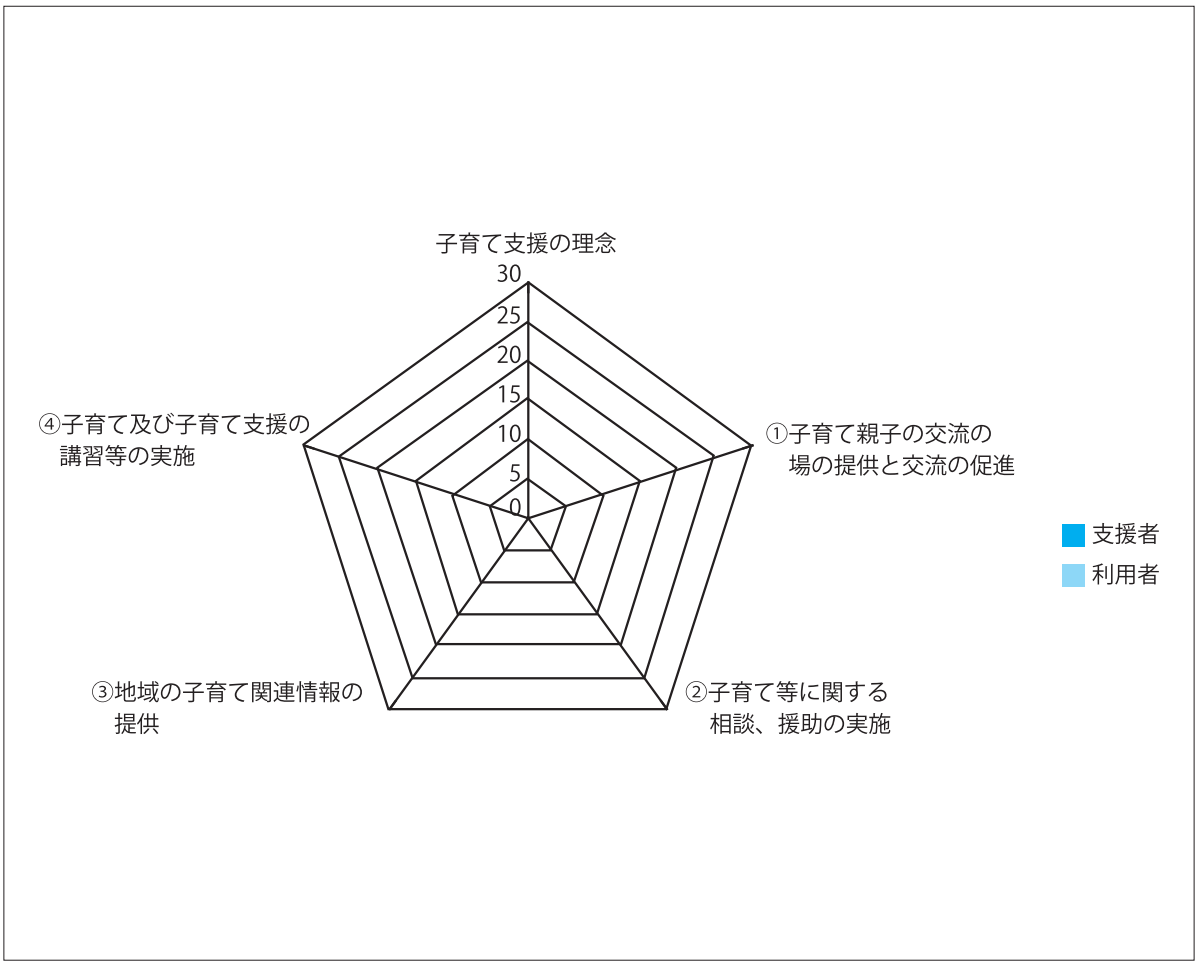
３．レーダーチャートの作成

①自己評価集計表の支援者の点数をそれぞれ各軸にプロット（点を打つ）する

②各軸のプロットを黒線で結ぶ

③次に自己評価集計表の利用者の平均点数を各軸にプロットする

④各軸のプロットを赤線で結ぶ



【レーダーチャートでみる結果と分析方法】

支援者と利用者の思いや達成感の違いを確かめて見ましょう。「子育て支援の自己評価表」の数値を「レーダーチャート」にプロット化することにより、基本４事業それぞれの達成度合や課題が一層明確になります。できている活動よりもできていない活動について注目する必要があります。どうすれば出来るようになるのかを考えてみましょう。そして複数の担当職員がいるところでは、「レーダーチャート」を比べてみると大きく達成度合が違う場合もあります。いずれにせよ、「話し合い」のいい材料になるはずです。

また「レーダーチャート」に利用者の数値を入れてみると、支援者との比較によって客観的な視点を入れて課題を見つけ出すことができます。

そこで「レーダーチャート」の結果の例示から、支援者と利用者の考えられることをあげて今後の課題を見つけだせるようにシミュレーションしてみましたので参考にして下さい。

（１）支援者より利用者の方が高い項目の場合
（２）支援者より利用者の方が低い項目
（３）双方の評価が高くレーダーチャートの中心に遠い外側で線が結ばれている場合
（４）双方の評価が低くレーダーチャートの中心に近い内側で線が結ばれている場合
（５）全体的に支援者の方が利用者よりも外に拡がっている場合
（６）全体的に支援者の方が利用者よりも内に縮まっている場合

（１）利用者の方が高い点の場合

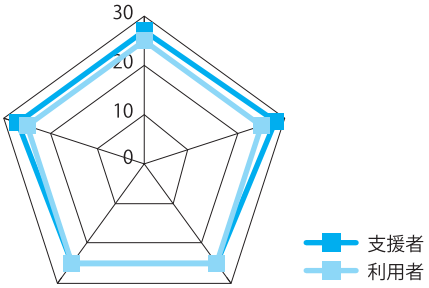
支援者が思っている以上に利用者にとって満足していたり、大事に思っているということになります。なぜ利用者にとって大事なのか、どういう点が評価されたのかを考え、話し合ってみてもいいかもしれません。

（２）利用者の方が低い点の場合

支援者のある程度の達成感はあるものの、利用者にはあまり響いていないということになります。何が原因なのか、どう変えていけば利用者にとってより為になる支援になるのかを考えてみましょう。さらに小計欄の合計点数だけではなく、個々の項目についてもどのような項目が低かったのか検討してみる必要があります。「おや？ここはどうして低いの」と思うような項目があれば、支援者同士で話し合ったり他の職員からの意見を聞いて園全体で考えてみてもいいかもしれません。

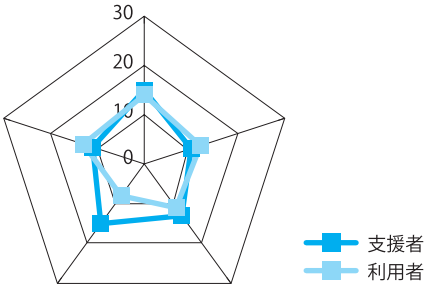
（3）右図のレーダーチャートのように双方が外側

支援する側も手応えを感じつつ業務にあたっていて、しかも利用者にとっても大いなる価値を見いだしているという結果なので、言うことはありません。



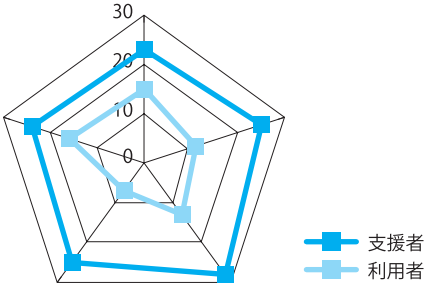
（4）左図のように双方がレーダーチャートの内側

双方にとって子育て支援の活動があまり活発でないことになります。今後どのようにしていくかをしっかり検討していく必要があります。



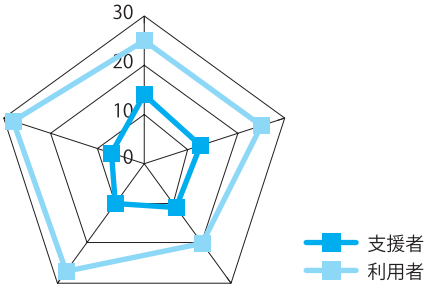
（5）全体的に支援者の方が利用者よりも外

支援者側の一方通行の支援になっていないかどうか、もしかすると自己満足気味かもしれません。細かく利用者の声を聴いて活動に活かしていかなくてはなりません。



（6）全体的に利用者の方が支援者よりも外

支援者はもっと子育て支援の取り組みに自信を持つことです。自信は親子に安心感を与えます。そしてこれまで以上に、積極的な子育て支援を心がけましょう。



いくつか例を挙げましたが、実際には上記の例のようなきれいなレーダーシートの結果にはなりません。わが「地域子育て支援センター」の特徴的な事をまずしっかり捉えていきましょう。その上で個々の項目について分析していく必要があります。そして職員間で「話し合い」の場をつくり課題を明確化・共有化を図ります。より質の高い支援を目指していきましょう。